

第70回全日本新体操選手権大会

要 項

主催:公益財団法人 日本体操協会／主管:千葉県体操協会
 後援:千葉県／協賛:(株)ポーラ、チャコット(株)、伊藤超短波(株)、日本航空

1. 期日 平成29年10月27日(金)～28日(日)

10月26日(木)	セッティング／公式練習
10月27日(金)	審判会議・監督会議開会式 男女個人総合競技前半／女子団体総合競技(種目①)
10月28日(土)	男女個人総合競技後半／女子団体総合競技(種目②) 男子団体競技予選／個人総合・女子団体総合表彰式
10月29日(日)	男女個人種目別決勝競技／女子団体種目別競技／男子団体競技決勝 表彰式(個人種目別、男子団体総合、女子団体種目別)及び閉会式

2. 会場 千葉ポートアリーナ 〒260-0025 千葉市中央区問屋町1-20 TEL 043-241-0006(代表)

3. 出場資格と条件

- ① 平成29年度、公益財団法人日本体操協会に選手登録した者とします。
 ②次に挙げる競技会で資格を得た者とします。

大会名	個人競技		団体競技	
	男子	女子	男子	女子
全日本社会人選手権大会	1位～6位		1位～2位	
全日本学生選手権大会	1位～18位	上位15位	1位～5位	1位～6位
全国高等学校総合体育大会	1位～3位		1位～5位	1位～6位
全国高等学校選抜大会	1位～6位	上位3位		
全日本ジュニア選手権大会	1位～3位		1位～2位	
全日本クラブ選手権大会		上位15位		
全日本クラブ団体選手権大会				1位～3位
全日本ユースチャンピオンシップ	1位～9位	上位15位		
男子新体操団体選手権大会			1位～3位	

- ① 男子は小学4年生以上とします。
 ② 団体競技の出場者は、個人競技にも出場することができます。
 ③ 個人競技は個人総合出場者のみとし、種目別のみ出場は認めません。
 ④ 男子団体競技は、各所属チーム1チーム(6名の正選手と2名の補欠選手)とします。
 ⑤ 女子団体競技は、各所属チーム1チーム(最大6名の正選手)とします。
 ⑥ 公益財団法人日本体操協会より推薦された者。
 ⑦ 女子は個人出場有資格選手及び団体出場有資格チームが出場を辞退、欠員が出た場合でも繰上げや補充は行いません。
 ⑧ 男子は個人出場有資格選手及び団体出場有資格チームが出場を辞退、欠員が出た場合は繰上げ補充を行います(当該の出場資格の枠を繰り下げる)。
 ⑨ 男子の海外選手については、出場希望がある場合、若干のオープン参加を認めます。
 ⑩ 出場所属団体名の記載は2所属まで可能とします。※注意事項(2)(3)参照

※注意事項※

(1)未成年(20歳未満)の参加者は、ドーピング・コントロールに関する同意書を必ず提出して下さい。

【その他、⑥参照】

(2)学生(大学生・高校生以下)の参加者は出場資格を得た大会に関わらず、所属名を「学校名」または「クラブ名」のどちらかを選択できます。その際、今年度の選手登録を済ませて下さい。

- ① 大学・高校等とクラブで協議のうえ、両所属の承諾を得ることとします。
- ② 登録時に双方の連盟に登録しておいて下さい。

※本協会への登録窓口となっている各都道府県体操協会登録窓口では、複数登録が可能となっています。

(3)(1)における所属の双方を表記することが可能です。

- ① プログラムに双方の所属を掲載します。
- ② 文字数に制限のある場合(競技帳票・得点表示板・場内放送や中継等における選手紹介・アナウンス・スポンサーによる肖像使用等)に、優先的に表記する所属を申告して下さい。
- ③ ②における制限に対し、/で区切り、合計12文字以内の略称を申告することが可能です。競技帳票・場内表示等に使用します。例:○○○○○クラブ/□□高校
- ④ このほか制限が生じる場合、優先する表記を本協会と参加者合議の上決定します。

4. 競技種目と競技方法

〔競技種目〕	個人競技	団体競技
男子	スティック・リング・ロープ・クラブ	徒手
女子	フープ・ボール・クラブ・リボン	① フープ(5)
		② ボール(3) + ロープ(2)

〔個人競技〕

- ① 個人総合選手権は、4種目の得点合計により順位を決定します。
- ② 個人種目別決勝は、個人総合選手権での各種目の上位8名により決勝競技を行い、順位を決定します。各種目ともリザーブ選手は1名とします。
- ③ 種目別決勝リザーブ選手は、決勝競技の競技開始まで有効として準備をしてください。注1(別紙参照)
- ④ 種目別決勝競技の出場者は、同一所属から3名までとします。(リザーブ選手が同一所属から4名目となることは可能とします)。
- ⑤ 種目別決勝への通過にあたり同点の場合は、女子はFIG競技規則に準じタイブレークを行います。男子は国内競技規則第32条に準じタイブレークを行います。

〔団体競技〕

- ① 男子・女子とも自由演技のみとします。
- ② 男子団体総合選手権は、予選競技の構成・実施の合計点による上位8チームを予選通過チームとします。決勝競技は持ち点制とし、予選での得点を2分の1にした得点と決勝での得点の合計(30点満点)により順位を決定します。リザーブは1チームとします。
 ※ 決勝リザーブチームは、決勝競技の競技開始まで有効として準備をしてください。
 ※ 決勝進出にあたり同点の場合は、競技規則第32条に準じてタイブレークを行います。
- ③ 女子団体総合選手権は、2種目の得点合計により順位を決定します。
- ④ 女子団体種目別決勝は、団体総合選手権での各種目の上位8チームにより決勝競技を行い、順位を決定します。各種目ともリザーブは1チームとします。
 ※ 種目別決勝リザーブチームは、決勝競技の競技開始まで有効として準備をしてください。
 ※ 種目別決勝進出にあたり同点の場合は、FIG競技規則に準じタイブレークを行います。

5. 採点規則

〔女子〕公益財団法人日本体操協会 新体操女子2017-2020年版採点規則を採用します。

〔男子〕公益財団法人日本体操協会 新体操男子2015年版採点規則(2017年2月改定含む)を採用します。

6. 表彰

個人総合選手権 1位 優勝杯・メダル・賞状 / 2位・3位 メダル・賞状 / 4位～8位 賞状
 個人種目別選手権 1位～3位 メダル・賞状 / 4位～6位 賞状
 団体総合選手権 1位 優勝杯・メダル・賞状 / 2位・3位 メダル・賞状 / 4位～8位 賞状
 団体種目別選手権 1位～3位 メダル・賞状 / 4位～6位 賞状

※ 同点は同順位として表彰します

7. 2018年 国際競技会への予選通過について（女子）

【第18回アジア競技大会】インドネシア/ジャカルタ8月

全日本女子個人総合選手権上位15位までの選手と強化本部推薦選手を、第1次通過選手とします。

8. 参加料 個人競技 20,500円 団体競技 50,500円

※日本著作権協会(JASRAC)規定による著作権料負担金を含みます。

9. 参加申込

① 締切期日 平成29年9月26日(火)

※ 出場権利獲得後、締切期限までに参加申し込み手続きをしなかった場合は、出場権利を辞退したものと判断します。その場合の繰上げや補充は行いません。

② 申込方法 web登録ページ (<http://jga-web.jp/>)にて手続きを行って下さい。

注意:参加料ご入金をもって申込完了となります。 Tel :03-3481-2341(平日10時~18時)

☆ 注意 ☆ 試技順抽選終了後の棄権については、参加料は返金しません。

振り込み控え書は各所属で大切に保管して下さい。

申込確定後の変更・追加は受付しません。

10. 運営に関する事項について

① 競技時程及び練習時程については、試技順抽選後に詳しくお知らせします。

② AD(Accreditation)カードについて

(公財)日本体操協会へ役員、指導者または選手登録を完了した方のみにADカードは発行されます。

- ADカードを発行致しますので、会場では必ず見える位置に着用をお願いします。
- AD使用に際しましては、不正使用のないようにご協力をお願いします。
- 各所属へのADカードの発行枚数と条件は、以下の通りとします。

役職	配布枚数	備考
監督	1枚	<ul style="list-style-type: none"> ● (公財)日本体操協会に<u>指導者登録を完了した方</u>のみに発行します。 ● 男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。 ● 公式練習時は競技エリアに入ることができます。 ● 競技中は競技エリア外(フェンスなどがある場合はフェンスの外側)まで入ることができます。
選手	出場人数分	<ul style="list-style-type: none"> ● 補欠選手を含め、出場選手全員に発行します。
個人コーチ	1枚~数枚 ※個人選手人数	<ul style="list-style-type: none"> ● (公財)日本体操協会に<u>指導者登録を完了した方</u>のみに発行します。 ● 申請できるコーチは<u>選手1名につき1名まで</u>とします。 ● 個人競技に出場しないチームは申請できません。 ● 公式練習時は競技エリアに入ることができます。 ● 競技中は競技エリア外(フェンスなどがある場合はフェンスの外側)まで入ることができます。
団体コーチ	1枚	<ul style="list-style-type: none"> ● (公財)日本体操協会に<u>指導者登録を完了した方</u>のみに発行します。 ● 申請できるコーチは<u>団体1チームにつき1名まで</u>とします。 ● 団体競技に出場しないチームは申請できません。 ● 公式練習時は競技エリアに入ることができます。 ● 競技中は競技エリア外(フェンスなどがある場合はフェンスの外側)まで入ることができます。
音楽係	2枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 男女の選手が出場のチームの場合、合計で4名分発行します。 ● 公式練習時及び競技中は競技エリア外(フェンスなどがある場合はフェンスの外側)と音楽席に入ることができます。
トレーナー	1枚 ※要申請	<ul style="list-style-type: none"> ● 申込み受付時に申請のあった場合のみ、発行します。 ● 競技中は競技エリア外で待機してください。 ● 治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます。

※個人団体を兼ねる選手および、複数の所属にまたがって申請されているコーチ・監督については、1名1枚の発行とします。

- ③ 伴奏音楽について
演奏方法：伴奏曲の演奏はCDとします。(必ず予備を用意して下さい)
再生機器：伴奏音楽再生機器は大会本部が用意したものを利用して下さい。
- ④ 炭酸マグネシウムについて
各所属で持参した炭酸マグネシウムは、会場内の指定された場所にて使用して下さい。
- ⑤ 部旗・応援旗の掲示について
会場内掲示の旗は各所属1枚とし、その大きさは最大4㎡とします。また体育館側より「広告」と判断された応援旗につきましては広告料が発生しますので、大会本部・体育館・諸団体とで話し合い、処理させていただきます。

11. 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

- ① 協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中(競技終了まで)までスポーツ傷害保険をかけます。
- ② 発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。
- ③ 競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。
- ④ 大会参加者は健康保険証を持参して下さい。

12. ドーピング検査について

- ① 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会となります。出場者は大会参加申込が完了した時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。また、未成年者(20歳未満)である場合は、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きに対する親権者からの同意書を大会参加時に提出する必要があります。
- ② 本大会出場者は、本大会において実施されるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるのでご留意下さい。
- ③ 血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技終了後2時間の安静が必要となりますのでご留意ください。
- ④ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、(公財)日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)で確認して下さい。また本大会はTUE事前申請が必要となる競技会として指定されております。TUE事前申請についてはJADAウェブサイト <http://www.realchampion.jp/process/tue> で確認して下さい。
- ⑤ ドーピング・コントロールに関する同意書につきましては、未成年(20歳未満)の出場者は、JADAウェブサイト「情報公開/未成年競技者の方へ」<http://www.playtruejapan.org/disclosure/u20-agreement/> のページをご確認いただき、「ダウンロード」よりドーピング・コントロールに関する同意書を、ダウンロードの上、必要事項を記載して郵送にて提出をお願いします。また、2015年4月以降に開催された本会主催の競技会(国民体育大会を除く)において提出していただいた同意書が、満20歳となるまで有効となります。すでに有効な同意書を提出済みの方で、内容に変更の必要がない方は、本大会においては再度の提出の必要はありません。

13. その他

- ① 試技順の公開抽選会について
日時：平成29年9月28日(木) 11:00～ 予定
会場：岸記念体育会館103会議室
方法：全ての試技順はオープン抽選とします。
- ② 出場辞退について
出場資格を得た選手及びチームが本大会への出場を辞退する場合は、申込締切期日までに文書で提出して下さい。
- ③ プログラム掲載用演技写真の送付について
団体よこ長・個人たて長のJPGデータ(100kb以上)を参加申込締切までにメールにて送付して下さい。
【アドレス:takatsuka@jpn-gym.or.jp】件名には「全日本写真:所属名」を記載して下さい。
- ④ 演技写真・映像撮影について
(ア) 本大会は競技力向上と競技普及および記録のため、写真と映像を撮影します。協会が定める競技者規定第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。また、出場選手の記録のため、写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。業者は決定後

参加者に連絡いたします。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

(イ) プライバシー保護の為、所属団体による写真、ビデオ、携帯カメラ等電子機器での撮影は全面禁止します。

ただし、公式練習中に限り演技のチェックとしてのビデオ撮影ができます。撮影はアリーナ内のみとし、1階観客席からの撮影は禁止とします。なお、撮影者はADカード保持者のみとし、保護者などによる撮影はできません。撮影した写真・映像をインターネットなどへ掲載するなどの二次利用を禁止します。

(ウ) 認められた報道機関などが撮影した写真・映像を新聞、ニュースサイトなどで公開されることがあります。

⑤ 所属の車両乗り入れについて

本大会は出場選手輸送の為に大型バスのみ許可いたします。選手団でバスを利用してのご来場をされる場合は、参加申込締切までに申請して下さい。

⑥ ドーピング・コントロールに関する同意書(男女共に必ず提出して下さい。説明書あり)

未成年(20歳未満)の出場者は、JADAウェブサイト「情報公開/未成年競技者の方へ」

<http://www.playtruejapan.org/disclosure/u20-agreement/> のページをご確認いただき、「ダウンロード」よりドーピング・コントロールに関する同意書を、ダウンロードの上、必要事項を記載して参加申込締切までに郵送にて提出をお願いします。

<郵送先> 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館5階 (公財)日本体操協会
第70回全日本新体操選手権 担当高塚 宛